

平成30年度病虫害発生予報第11号

平成31年2月6日
鳥取県病虫害防除所

予報の概要

区 分	農 作 物 名	病 害 虫 名	発 生 時 期	予 想 発 生 量
野 菜	ラッキョウ	白色疫病	—	平 年 並

気象予報（抜粋）

1か月予報（2月2日～3月1日：1月31日、広島地方気象台発表）

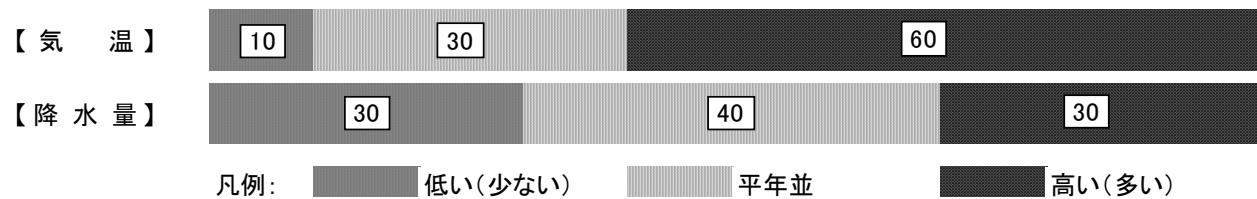
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

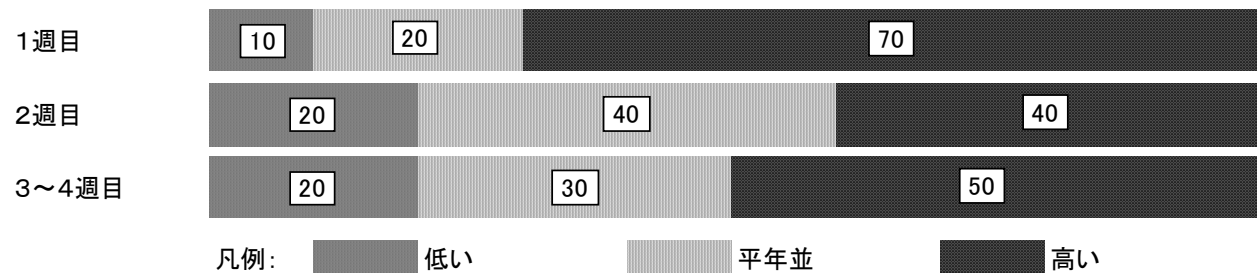
向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、平年並または高い確率とも40%です。3～4週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量の各階級の確率(<div>%)>



<気温経過の各階級の確率(<div>%)>



野菜

〔ラッキョウ〕

1 白色疫病

(1) 予報の内容

発 生 量 平 年 並

(2) 予報の根拠

ア 1月下旬現在、県東部～中部の現地調査ほ場における本病の発生量はやや少ない。

イ 本病は、降雪後の雪解け水や連続降雨により、発病が急速に広がりやすい。

ウ 向こう1か月の気象予報から、発生量は平年並と予想される。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 本病の発生が認められる場合は、フォリオゴールド1，000倍液、ホライズンドライフロアブル1，000倍液などを展着剤を加用して茎葉にむらなく散布する。

イ 発病が認められない場合でも、2～3月の後期発生を予防するため、雪解け直後や連続降雨時の雨の止み間などに、フロンサイド水和剤1，000倍液などを展着剤を加用して散布する。

ウ 罹病株は伝染源となるので、ほ場外に持ち出し処分する。

[お知らせ]

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守するとともに、周辺への飛散には十分注意しましょう。

農薬の詳しい登録内容は、独立行政法人 農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報検索システム」から検索できます。(http://www.famic.go.jp/)

なお、農薬の使用や防除指導等に際しては、農薬のラベルを必ず御確認ください。

<鳥取県病虫害防除所ホームページ>

アドレス <http://www.jppn.ne.jp/tottori/>

病虫害発生予察情報、フェロモントラップ調査結果（ナシのシンクイムシ類）などの参考情報、病虫害の診断方法などの情報をお知らせしていますので、ご利用下さい。

<お問い合わせ>

普通作物関係：〒680-1142 鳥取市橋本 260

鳥取県病虫害防除所

(TEL：0857-53-1345、E-mail :boujyot@titan.ocn.ne.jp)

もしくは

鳥取県農業試験場環境研究室

(TEL：0857-53-0721、FAX：0857-53-0723)

果樹・野菜・花き関係

〒689-2221 東伯郡北栄町由良宿 2048

鳥取県園芸試験場環境研究室

(TEL：0858-37-4211、FAX：0858-37-4822)

※予報第12号の発表は、3月13日（水）の予定です。

なお、予定日と実際の発表日が前後することがありますのでご注意ください。